

# ニュースレター No.90

## 会長挨拶

### 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤香代



立春とはいえ、いまだ底冷えの残る毎日です。  
つい最近まで暑い熱いと言っていましたが、今は春の訪れが待ち遠しいと感じます。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年は福岡県助産師会の活動にもさまざまな動きがみられていますので報告します。福岡県助産師会は毎年福岡県知事に要望書を提出してきました。今年は厚労省、県知事宛に、より具体的な要望書を提出しました。

2026年1月27日、福岡県庁において、福岡県知事宛の要望書を関係部署に手渡し、その後、懇談会を行いました。出席者は、福岡県：医療指導課・子育て支援課、福岡県助産師会：会長・助産所部会長、議員：秋野参議院議員・川上県議会議員です。

要望書の内容は2点に絞りました。

(1)助産所における嘱託医療機関の確保：県内の三次医療機関（周産期センター等）や公的医療機関が嘱託医療機関として助産所と契約できるよう、県が主導して体制整備を行い組織的な連携の仕組み作りをお願いしたい。

→県の回答：一次医療機関の減少は全国的な課題であり、県としても認識している。2月の「周産期医療協議会」において、総合周産期母子医療センター長に対し、嘱託医引き受けの理解を求める場を設ける。顔の見える信頼関係が重要だが、組織としてのバックアップ体制を検討していく。

(2)産後ケア事業の整備と適正化：県内委託料の統一化と、物価高騰を反映した適正な単価設定。アウトリーチにおける交通費・駐車場代の支給。兄弟利用加算や多胎児加算の全市町村導入。利用手続きの簡素化・共通化。クーポン券方式や電子化の導入をお願いしたい。

→県の回答：産後ケアの標準化。1泊2日の定義や料金体系の「福岡県標準モデル」を提示し、市町村間の格差を埋める方向で調整する。DX化の推進。市町村側も事務負担の重さを課題視している。こども家庭庁が進めるマイナポータル連携等を含め、県内共通の電子申請・決済システムの導入を模索する。予算面では、物価高騰対策としての既存予算（1施設あたり数万円単位など）の活用を案内しつつ、次年度以降の予算確保についても検討を続ける。

以上、一定の成果が得られたと考えます。これからも、助産師会の課題について一つ一つ明らかにし、県や行政に訴えることは重要であると感じました。

嘱託医療機関の要望においては、背景に国会予算委員会の質問があり、厚労省が「周産期母子医療センターが嘱託医療機関となること」を認めたことが引き金となりました。

12/16 公明党 秋野参議院議員 国会予算委員会質問

「福岡県助産師会の佐藤香代会長の指摘であるが、自然分娩を扱う助産所はこれまでクリニックと嘱託医契約を結んできたが、今後は助産所も病院と連携し嘱託医契約を結ぶのではないかと、すなわち緊急に対応している医療機関が助産所の嘱託医契約を受けることは躊躇なく行うべきではないかということを確認したく見解を問いたい。」

→厚生労働省 森光敬子医政局長答弁

「医療法上、助産所は嘱託医師 医療機関を定めておかねばならない。そのような嘱託医療機関の役割を周産期母子医療センターが担うことは可能である。助産所から嘱託医療機関の求めがあった場合は、地域の医療提供体制の実情や助産所の体制を踏まえて嘱託医療機関となることも検討いただきたい。また、緊急の際は、直接救急医療センターに連絡することも当然していただきたい。」

2月5日、第1回福岡県周産期医療協議会で、周産期母子医療センター宛の要望書を提出。助産所の嘱託医確保が困難なため、第三次医療機関との嘱託契約を要望する。その後、第三次医療機関が嘱託医となることの意義が議論された。

「福岡県助産師会会員はガイドラインを遵守して活動している。賠償責任保険にも加入しており、実践の質を担保している。第三次医療機関との契約を通じて、助産所での安全・安心な自然分娩を保証することが、今後の母子保健において重要である」と強調した。

結果、助産師会会員が地域の事情（開業医不在など）で嘱託医を見つけられない場合は、助産師会、当該助産所、医療機関の関係者が協議し、高次医療機関での支援・連携を検討することで合意した。

以上のような経緯を経て、長年の課題であった嘱託医の課題にやっと一筋の光が見え始めました。開業を考えている会員の皆さま、どうぞ助産師会へ相談してください。あなたの開業を助産師会がアシストします。



## 委員会活動

### 災害対策委員会委員長 神崎秀子

2月1日（日）福岡県教育会館にて

「“女性と子どもを守る” 来るかもしれない災害に備えていくためにこれから求められるもの」をテーマに熊本大学跡上富美先生を講師として招き、研修会を開催いたしました。

跡上先生は15年前の東日本大震災の際は東北にお住まいで、被災者でもあります。講演のなかで、リアルな被災体験、災害時の備え、母子への配慮、女性への配慮の話などたくさんの学びを得ることができました。今年も山陰地方で地震があるなど、災害はいつ、どこで起こるかわかりません。だからといって、毎日災害が来るかもしれないと怯えて暮らすことはありません。どこかで災害が発生した時「もし、この場所で起きたときの備えはできているか」と備えを見直し、ハザードマップを確認することが大切です。来るかもしれない災害に、私たち委員会も女性と子どもを守る支援ができるよう、取り組みを続けていきたいと考えております。



### 組織強化委員会委員長 浦部きくえ

11月30日電気ビル共創館において、2025年国際助産師の日のイベントとして講師にデカトワルこと、阿部佑介氏と串田大我氏をお招きし、講演会“いただきます”が育てる親子のキズナ～元刑事と元受刑者が伝える心と栄養の話～を開催しました。

事前申し込みは非会員40名を含む72名、当日受付でさらに増え、看護師、保健師、学校関係者、管理栄養士、理学療法士、母親や学生など78名にご参加いただきました。

動画と小話を交えた講師入場で、参加者は一気に話に引き込まれました。その後、刑事と受刑者と

しての其々の実体験や研究結果に基づいた食と心の関係性を話してくださいました。ある学校の給食から砂糖を除くとトラブルが激減したとの話には、会場から感嘆の声が漏れました。講師が持参された書籍は完売し、参加者からは『先ず自分自身を大事にしたい』や『第二弾が聴きたい』など満足度の高い感想があり、盛会のうちに終了することができました。



## 安全対策委員会委員長 松浦栄梨子

安全対策委員会では、日本助産師会安全対策小委員会作成の「助産師業務安全管理評価表」の活用について会員にご案内し、今年度は90名の提出をいただきました。昨年度より提出者数も大幅に増加し、個人の安全管理意識の向上、またGoogleフォームによる提出様式を取り入れたことで利便性が図られた結果と考えております。

また、「インシデント・アクシデント報告書」については、未だ報告数が少ない現状であり、会として有効活用ができていないことが課題として挙げられます。報告内容を通して、委員会でも再発防止策を検討し共有することで、個々が多様な安全対策の視点を持って日々の業務にあたるものと考えます。些細な事例もタイムリーに報告できるような体制整備に取り組んでまいります。今後は、事例検討も取り入れ会員の皆様からのご意見もいただき、より一層会全体としての安全管理の底上げを図っていく所存です。

## 三部会報告

## 勤務助産師部会長 村田 修子

### 【 第2回勤務助産師部会研修会・交流会報告 】

昨年12月20日に第2回勤務助産師部会研修会を開催いたしました。

講師は、東京の総合母子保健センター愛育病院の石幡理絵先生をお迎えし、“周産期の感染管理を学ぼう”と題しZoomでのハイブリッド開催をいたしました。

2020年新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染対策に翻弄された日々は遠く感じます。目に見

えないものとの戦いは、本当に大変でした、しかし、これからの未来はガンをぬいて感染症での死亡率が高まるとされています。

今回は、産科に特化した内容でご講義いただきました。ポイントとしては、産婦人科は、血液・体液の暴露が最も多い科でありながら危機感が少ないこと、分娩助産時は顔面への血液暴露は100%であること。経膈超音波プローブのHPV汚染について：120個のプローブが検査され、合計5個のプローブからHPVが検出された、その中で高リスクのHPVも検出された、経膈プローブカバー交換時には新しい手袋を用いることが推奨されている。超音波ゲルの衛生管理について：ゲル内に細菌が混入した場合には細菌が数時間～24時間は生存している。ゲルの衛生管理は重要である、超音波機器周囲は汚染リスクが高く手指衛生の徹底・清掃が重要である。私たちの手は、母子の救いの手となっているのか？改めて基本に立ち戻る機会となりました。

研修参加者は、16名（Zoom10名・対面6名）交流会参加者は6名で、講師の先生も参加され楽しい時間を過ごすことができました。満足度はほぼ100%でした。

今年度の部会活動は、みなさまのご協力の下、無事に終了することができました。本当にありがとうございました。

## 助産所部会長 田嶋 昌枝

会員の皆様には日頃より助産師会活動にご支援いただきお礼申し上げます。

2期目もあっという間に終わりに近づきました。助産所部会長として妊婦健康診査の市町村との契約改善等活動してまいりました。なかでもとくに分娩取扱い開業助産師の嘱託医契約について取り組んでいます。

分娩取扱いを行う開業助産師は医療法第19条により妊産婦の分娩時等の異常に対応するため嘱託医・嘱託医療機関（病院又は診療所）を定めなければなりません。しかし近年、少子化等の理由から産科医師が不足し、特に分娩取扱い一次医療機関が著しく減少しています。助産師個人の努力では嘱託医契約が難しく、助産所の継続または新規開業も大変困難な状況です。そこで国会の場において福岡県助産師会の要望を質疑していただきました。福岡県助産師会会員が分娩取扱い開業助産師として一人でも多く開業できるよう助産所部会会長として引き続き努力してまいります。皆様の後押しもよろしくお願いいたします。

### 助産所の嘱託医療機関、周産期センターも可能 厚労省が見解



助産所の嘱託医療機関もテーマになった参院予算委＝15日、国会

## 保健指導部会長 松浦栄梨子

保健指導部会では、12月6日に顧問税理士である加藤田敏孝先生を講師にお招きし、「開業にあたり知っておきたい税務の話」と題した研修会を開催しました。

55名の会員にご参加いただきました。講師の先生より開業に必要な準備、税務の基礎知識（売上・経費・税金の関係）、青色申告と白色申告の違い等について、大変丁寧なご講義を頂きました。今後開業予定の会員はもとより、既に開業している会員からも「今までは自身で勉強し申告していた」、「経理面では苦手意識があり学ぶ機会を得たかった」等、意欲的な参加動機が伺えました。

参加者からは「大変丁寧で分かりやすい説明で理解が深まった」、「日々の会計業務を丁寧に行っていきたい」等の感想があり、実務の参考になる研修会となりました。今後も部会員の皆様のご意見をもとに相互に悩みや課題も共有し合いながら、共に学び高め合っていけるような部会活動を心がけてまいります。



## 産後ケア事業の現況

### 妊娠・出産包括支援委員長 豊田晴子

産後ケア事業は、出産を終えたお母さんと赤ちゃんが、安心して新しい生活を始めるための大切な支えとして、地域に少しずつ根づいてきました。福岡県内でも、宿泊型・通所型・訪問型といった多様な形の産後ケアが整備され、利用される方も年々増えています。

その背景には、家族形態の変化や育児への不安、心身の不調を抱えながら子育てを始める方が増えている現状があります。産後ケアは「特別な人のための支援」ではなく、「誰もが必要とする身近な支え」へと変化してきました。

一方で、地域による体制の違いや人材確保など、課題も少なくありません。支援を必要としている方ほど、制度につながりにくいという現実もあります。

助産師は、妊娠期から産後まで寄り添い続けることのできる専門職です。これからも行政や多職

種と連携しながら、現場の声を大切にし、すべての母子が安心して過ごせる産後ケアの充実に取り組んでまいります。

私事ではございますが今年度を持ちまして代替わりを致します。次年度1年は、新委員長のサポートをさせていただきます。

福岡県産後ケア事業が益々充実しますようお願いしています。長い間お世話になりました。心より感謝申し上げます。



## 福岡市マタニティスクール報告

**マタニティスクール運営担当 塩山知世**

今年度のマタニティスクールも、残すところあと1回となりました。

毎回20~40組ものお申し込みをいただいておりますが、定員の関係で参加できるのはわずか8組。依然として「狭き門」の状態が続いています。

問い合わせ窓口には、「初産で不安。夫にも参加してほしい」「自治体の予約が取れず困っている」といった声が届いています。こうした期待に応えるため、次年度は開催場所を含めた体制を再考いたします。

参加者の方も、担当する私たちも、双方が「参加してよかった」と思えるクラスを目指していきたいと考えています。ぜひ、皆様の豊富な経験と知恵をお貸しください。

## 電話（SOS）相談事業

**SOS 電話相談事業担当 福澤雪子**

SOS 電話相談では助産師会会員の中から相談員を採用させていただいております。新年度の採用はおりましたが、この仕事に関心をお持ちの方がおられましたら遠慮なくお問い合わせください。

【 問い合わせ先 : [fukuoka.sos.tel@gmail.com](mailto:fukuoka.sos.tel@gmail.com) 】

## パパのための子育て相談ダイヤルの報告

### パパのための子育て電話相談事業担当 福澤雪子

パパのための子育て相談ダイヤル（092-406-5188 毎週月曜日 18時～21時）は、助産師会が福岡県の委託事業として開設している父親専用の電話相談窓口です。

男性心理士が、子育てに関する悩みや不安・人間関係の悩みなどの相談に応じ、無料でサポートを行っています。年末に「優&舞のもっと！知っつく！ふくおか」で紹介されました。

下記 URL からご覧いただけます。相談ダイヤルのことを周囲の方に是非ご紹介ください。

<https://youtu.be/MfiEDrS9Neo?si=mszlVbiILAIitemV1>

SNS 電話相談ホームページ



## 助産師が伝える包括的性教育・いのちの教育 連続研修 第9回目は今年新たに設けた「更年期の健康支援」

### 包括的性教育委員会委員長 道園亜希

5月にスタートした本研修も、今年1月、無事に第9回目までを終えました。  
第9回目は「包括的性教育の視点から考える更年期の健康支援」というテーマ。  
今年度新たに設けたテーマです。

更年期が歴史的にどのように扱われてきたのかというとても興味深いところから始まり、その症状・障害と健康支援、更年期と性、更年期の発達課題と心理社会的側面、そして現代社会における課題と支援について幅広く学びました。参加者からは、「更年期は衰えや欠乏ではなく、意味ある変化であり、からだか再編成されている時期と知り、前向きに伝えられる素敵な表現だと思った」「更年期について色々学んだが1番腑に落ちた講義」「更年期について学べる場があまりなかったので貴重な研修だった」「助産哲学と更年期のつながりに感動した」という声がかれました。今フェムテックなど便利なものがたくさん増えてきました。でもそのような知識や技術に振り回されるのではなく、女性が自分のからだところろの声を聞き、大切にすることができるよう助産師として日々女性に寄り添っていきたくと、気持ちを新たにすることができました。

2月はいよいよ今年度最終回。

1年間学びを共にした皆様と最後の集大成のまとめを行っていきます。

## 更年期研修 演習の様子



## 学生への出前講座と養護教諭への研修会

### 福岡県プレコンセプションケアセンター コーディネーター 高空裕子

福岡県プレコンセプションケアセンターでは、専門学校・大学約30校を対象にプレコンセプションケアの出前講座を実施しています。講師は福岡県助産師会主催の包括的性教育研修会（全10回）を修了し、認定登録後、見学や引率付き実施を経て活動しています。

今回、講師の母校より出前講座の依頼があり、卒業生による講義を希望されました。看護学生が先輩講師の姿を通して、プレコンセプションケアの学びに加え、看護職としてのライフプランの一例として感じてほしいとの思いが込められていました。当日は「教育講演」として全校生徒が講堂に集まり、講座後には花束も贈られるなど、温かい雰囲気の中で実施されました。



## 福岡県助産師会 研修会報告

副会長 吉田静

2026年1月31日に研修会「業務委託契約と法的責任」を行いました。  
福岡県助産師会は、妊婦健診やマタニティクラス、産後ケア、性教育など幅広い活動を自治体の皆さまと契約して実施しています。

この研修会には委託契約中の会員だけでなく、テーマに関心のある会員からも多く申し込みがあり、対面、ズームとオンデマンド配信にて約200名の方がご参加くださいました。これは福岡県助産師会会員の半数を超えており、皆さんの関心の高さを実感しました。

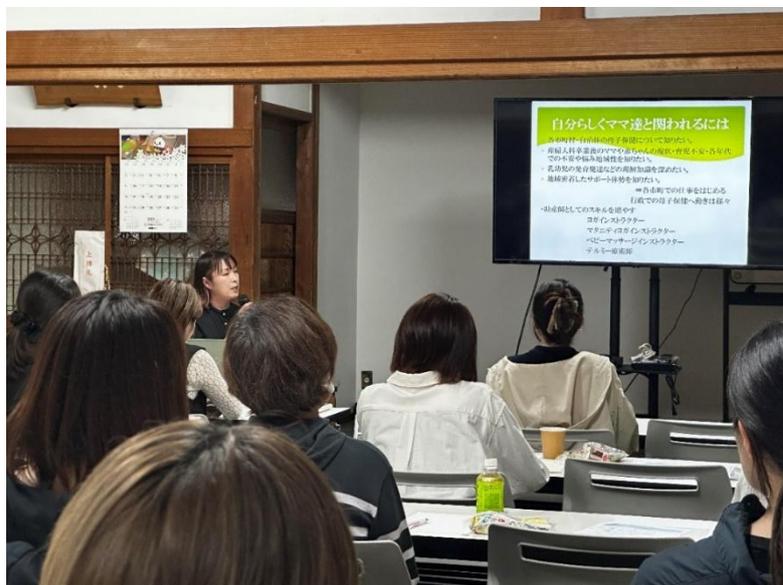
講演では、福岡県助産師会顧問弁護士の両角駿先生に、委託契約の実際、契約書のポイントなどを分かりやすく丁寧にお話しいただきました。助産師として活発な活動を行う中には、契約している「責任」という重みがあることを痛感しました。

## 地区活動紹介

福岡地区理事 福田睦美

こんにちは、福岡地区です！

2025年11月1日（土）助産師会館にて福岡地区講演会・交流会を開催しました。講演会のタイトルは「キャリアを描く一私の開業STORY-」、福岡県内で助産所を開設している3名の助産師がそれぞれの働き方や現在請け負っている産後ケア事業のこと、分娩取扱い助産所開設までの苦労など、交流会も含め、これから開業したい助産師向け、現在開業している助産師向けの目からウロコの話がたくさん聞くことができました！福岡地区は2026年1月現在、151名の会員が所属する他の地区と比べ「マンモス」地区となっています。そして、新規の産後ケア事業受託希望者も増えており、今後も会員の増加が見込まれます。現在2名の地区理事で運営しておりますが、来期はまた新しい理事に交代する予定となっております。会員が多いため、伝達等至らない分もあるかと思いますが、引き続き円滑な活動へのご協力をお願いいたします。



筑豊地区は22名の会員で構成されており、保健指導部会・助産所部会のメンバーが約半数、病院・行政・教育機関に勤務するメンバーが約半数であり、開業助産師の割合が比較的高いことが特徴となっています。4月の開業に向けて準備されている若手助産師さんもおられます。

日常的な情報共有は主にLINEを活用しており、対面での地区会議はなかなか開催が難しい状況にあります。年に1回は交流会を兼ねた研修会を企画し、日頃の活動を持ち寄って報告し合う機会を大切にしています。今年度の研修会・交流会は3月1日に開催を予定しており、会員同士のつながりを深める貴重な場となるよう準備を進めています。

## Feel! Femtech & Care 2026 (RKB 主催)に 助産師会が出展しました!

会長 佐藤香代

1月24/25日の2日間、福岡ワンビルで【Feel! Femtech & Care 2026】が開催されました。なんと両日で2500人ほどが訪れ、大盛況でした。

助産師会は福岡県女性活躍推進課から依頼され、福岡県助産師会 & 福岡県プレコンセプションケアセンターのブースで、「助産師の健康相談」コーナーを担当しました。相談に来てくださった方は2日間で70名に登りました。相談コーナーの後には行列ができ、ひっきりなしの質問で、担当者は席を立ったり水を飲んだりする時間もままならない状態で必死でしたが、とても充実した2日間でした。

相談内容は、妊娠、出産、子育て以外にも多岐に渡り、特に更年期の相談は深刻で「身体の不調にどう付き合っているかわからない」「どこに相談したらいいかわからない」などの現状が理解できました。ちょうど、包括的性教育の研修で更年期の健康支援を行い、更年期になぜ助産師が関わる必要があるのかを議論したばかりでしたので、とてもホットでジャストタイミング!

研修で、更年期を担当した助産師が対応し、高評価を得ることができました。

これから、もっともっと悩みの多い女性に向き合っ、こころとからだの相談に応じていきたいと思ひます。

質問、相談は、ぜひ福岡県プレコンセプションケアセンターを活用してほしいですね。助産師がお待ちしています!



## 公衆衛生事業功労者福岡県知事表彰式に参加

会長 佐藤香代

2026年2月6日、食と健康推進フォーラムがナースプラザ福岡で開催され、そこで公衆衛生事業功労者福岡県知事表彰式が行われました。

福岡県助産師会では、高杳裕子さんが受賞しました。臨床・教育・地域活動の各分野において、母子保健と地域住民の健康づくりを推進し、公衆衛生の発展に功績を挙げたことが受賞の理由です。これからも福岡県プレコンセプションケアのコーディネーターとして、地域社会に大きく貢献していただくことを期待しています。



今年も FUKUOKA YELLOW FES 2026 に出展します！

会長 佐藤香代

「いのちの重さに触れ、明日からの景色を変えてみる」  
福岡県助産師会による【妊娠・出産体験ブース】にぜひおいでください。お待ちしております。

フォローして最新情報をチェック!

知ッテク、  
変わッテク、  
フェムテック。

FUKUOKA  
**YELLOW FES**

第2回  
フクオカ イエローフェス  
2026

2026 **3.8** SUN  
11:00-18:00(予定)

会場 | ソラリアプラザ 1F ゼファ | 入場  
無料

福岡県福岡市中央区天神2丁目2番43号

主催: FUKUOKA YELLOW FES 実行委員会  
協力: 一般社団法人 日本フェムテックマイスター®協会

後 援



FUKUOKA  
**YELLOW FES**  
第2回  
フクオカ イエローフェス  
2026

**Event Content**  
[イベントコンテンツ]

**助産師会による体験ブース**

3.8 SUN 11:00~18:00

妊婦体験ジャケットや赤ちゃん人形の抱っこ体験、胎児人形や子宮モデル、出産パネルなどを通して、妊娠から出産までの過程を体感できるブースです。実際の重さを再現した妊婦ジャケットを着用することで、日常動作の大変さや身体の変化を実感できます。世代や性別を問わず、妊娠・出産を自分ごととして考えるきっかけとなるコンテンツです!



## 母子保健情報交換会 ご報告

副会長 吉田静

2025年10月17日、2025年度母子保健情報交換会をKKRホテル博多にて開催しました。会には来賓として産婦人科医会の先生方など多くの方がご参加くださり、助産師会からは理事の他、包括的性教育委員会委員長、妊娠出産包括支援委員会委員長、プレコンセンターコーディネーターなどが参加し、にぎやかな会となりました。

佐藤会長より包括的性教育、プレコンセプションケアなど福岡県助産師会の活発な活動が紹介され、来賓の皆さまより助産師会に期待する温かいお言葉を多くいただき、閉会が近づいてもお話が止まらないままに名残惜しく終了しました。

次年度も引き続き母子保健情報交換会を11月に開催を予定しております。多くの皆さまとお会いできますことを楽しみにしております。



今年もマタニティコンサートに助産師コーナーを設置！救護室にも助産師が待機  
 コンサート中に「胎教のお話」と盛りだくさん！ご期待下さい

**九響** 特別協賛 **福岡県民共済**

九響マタニティコンサートは妊婦さんや小さなお子さんを育てるママパパに心も体もリラックスしてもらうためのコンサートです。

九響がセレクトした珠玉の名曲を聴いて胎教にもよいひとときを

喜びと不安でいっぱいな日々を過ごすママたちへ

ママとパパとベビーに贈る

5th 5周年記念コンサート

がらの歳 **オーケストラ**

ベビーカーで入場可  
 フリースペースあり  
 ベビーカーおむつ交換台、ミルクコーナーあり  
 おむつ交換台、ミルクコーナーあり  
 助産師コーナー  
 救護室に助産師が待機

九響マタニティコンサート2026  
**アクロス福岡**  
**イベントホール** 地下2階  
 マタニティチケット **1,000円**  
 全席指定・一般  
 こども **1,000円** | 一般 **3,000円**  
 [チケット発売日: 1月15日(木)]

**4/25** 2回公演  
 ●午前11:00開演 [午前10:00開場 / 正午12:00終演予定]  
 ●午後2:30開演 [午後1:30開場 / 午後3:30終演予定]

※マタニティチケットの購入は、母子健康手帳をお持ちの産婦の方で、胎児の健診から1週間以内に行なっていただきます。  
 ※3歳未満でも、お席をご利用の場合は、チケット(こども)をお求めください。

私たちは、働く皆様を「快適な眠り」で支えます。

東洋羽毛について詳しくはこちらをご覧ください



**東洋羽毛 睡眠セミナー無料サービスのご案内**

よく眠った人には、かなわない。

**睡眠セミナー講師を無料で派遣いたします**

東洋羽毛では、「睡眠健康指導士」の資格を有した社員が講師を務める充実したセミナーをご用意しています。正しい情報を得て睡眠習慣を見直し、イキイキと健康的な毎日を歩むお手伝いをさせていただきます。

\*オンラインセミナーの開催も承ります。

【お役に立てる主な研修】

- **医療安全対策研修** 睡眠不足とヒューマンエラーの関係や、交代制勤務における睡眠のコツなど
- **学校保健委員会** 「学力」や「部活動」、「スマホ・ゲーム」と睡眠の関係
- **高齢者の睡眠ケア** 高齢者の睡眠マネジメントやこれだけ知ってほしい生活習慣

\*他、施設内研修などご相談承ります（事前にお打ち合わせをお願いする事も可能です）

※睡眠セミナー講師は社員に絞って募集予定対象を募集しています。

◆セミナーに申し込んで頂くには、ご自身のプロフィールを登録する必要があります。会員登録はこちらからご登録をお願いします。 <https://www.toyonaka.co.jp/seminar/>



東洋羽毛九州販売株式会社 福岡営業所  
〒812-0062 福岡県福岡市東区松島1-15-28 TEL 0120-104-557

mamo-hada だけの「0ゼロ添加」低刺激処方

肌への優しさを追求し続けることが私たちの最大のテーマです。

敏感肌スキンケアシリーズ



まも肌 ベビー泡ソープ 400mL / 199円（税別） 350mL（税別）  
まも肌 ベビーミルククリーム 120g / 60g（税別）  
まも肌 ベビーUVエアークリーム 50g（税別）  
まも肌 トライアルセット  
ベビー泡ソープ（300mL）+ ベビーミルククリーム（110g）

mamo-hada 「0ゼロ添加」低刺激処方

より安心してお使い頂くために

まも肌は、外国専門機関で複数のテストを実施しています。

- 西 肌刺激試験（アレルギーテスト）済み
- 西 敏感肌対象パッチテスト済み
- 西 スティンギングテスト済み
- 西 皮膚科医監修による乳児対象使用テスト済み
- 西 アトピー素因の方対象パッチテスト済み

※すべての成分にアレルギーが起因しないというわけではありません。

【不使用成分】

- 防腐剤
- 石鹼系界面活性剤
- キレート剤
- （PH調整剤）
- 着色料
- 香料
- アルコール
- 香料
- アルコール
- 香料

日本免疫学研は、認定NPO法人アトピー地球の手ネットワークの活動を応援しています

【製造販売元】株式会社日本免疫学研  
【商品に関するお問い合わせ】株式会社未来 TEL 03-5148-1007

**ママと赤ちゃんのコンビニエンス**

●● 産科用品の自動販売機 ●●

院内サービスショップとして24時間いつでもご利用いただけます。

**GLORY**  
産科用品自動販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを回転させながら商品が選べます

↓

投入金額以内の陳列コラムの扉を1つだけ開けて商品を取り出せます



外形寸法：(W×D×H)  
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元  
**SEBE** セベ産科用品株式会社  
〒812-0016 福岡市博多区博多駅前4丁目11-11 TEL (092)472-4316

**産褥社**（胎盤処理）

〒811-1313  
福岡県福岡市南区日佐3丁目  
34-16

TEL : 092-581-6588

代表 : 村上 士朗



## ホームページ会員登録のお願い

**会員登録がお済みでない会員におかれましては、登録をお願いいたします！**

手順は、【福岡県助産師会 HP】⇒【助産師の方へ】⇒【会員登録について】⇒【会員登録フォーム】に必須事項の入力となります。

これまで日本助産師会事務局から福岡県助産師会会員の皆様への情報提供手段として、地区理事や各部会長を通して伝達しておりましたが、2022年9月より福岡県助産師会ホームページ内【会員ページ】に掲載することになりました。会員ページにログインされますと、観覧制限しているページを見ることができます。

## 会員募集

**一般社団法人 福岡県助産師会では、会員を募集しております！！**

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？

入会をご希望される方は、下記 QR コードより福岡県助産師会ホームページにアクセスし、

【助産師の方へ】⇒【入会案内のページ】にお入りください。

または、下記担当者への連絡をお願いいたします。



【福岡県助産師会 会計 山口美津枝】

住所：〒807-1134

北九州市八幡西区茶屋の原 4 丁目 1-12

電話：090-9607-3331

メールアドレス：[3enyanko@gmail.com](mailto:3enyanko@gmail.com)

**おひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております。**

### 【編集後記】

新年度に向けて、福岡県助産師会の各委員会、各部会の活動について多くの報告をいただき、盛りだくさんのニュースレターが出来上がりました。

1人でも多くの方に福岡県助産師会の活動を知っていただくと嬉しいです。



広報・渉外委員 安河内・新・原武・阿部・伊与田

一般社団法人 福岡県助産師会 ニュースレター 第90号 2026年3月  
発行人 一般社団法人 福岡県助産師会 会長 佐藤 香代

〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41

電話・FAX 092-521-2025 <https://jyosanshi.net>